

日野川水系大規模氾濫時のタイムライン 第8回検討会議事概要

日時：令和5年6月8日 13:30～15:00

場所：WEB会議形式（Teams）

日野川河川事務所 別館2F 会議室

【出席者】

- ・米子市 防災安全課、道路整備課、学校教育課、水道局
- ・伯耆町 総務課、地域整備課
- ・南部町 総務課、建設課、健康福祉課
- ・日吉津村 建設産業課、教育委員会事務局
- ・鳥取県 河川課、米子県土整備局、警察本部、米子警察署、黒坂警察署、西部広域行政管理組合消防局
- ・気象庁 鳥取地方気象台
- ・福祉施設 なんぶ幸朋苑、米子ワークホーム
- ・ライフライン 中国電力ネットワーク(株)米子ネットワークセンター配電課、米子ネットワークセンター変電課、米子ガス(株)導管事業部
- ・通信インフラ NTT西日本（株）鳥取支店
- ・報道機関 山陰中央テレビジョン放送（株）報道部、（株）DARAZコミュニティ放送
- ・国土交通省 倉吉河川国道事務所
日野川河川事務所

【議事概要】

進行：日野川河川事務所 赤松建設専門官

1. 開会挨拶（鳥取大学 黒岩教授）

2. 日野川水害タイムラインの概要（日野川河川事務所 赤松建設専門官）

- タイムラインの目的・効果、タイムラインが想定する浸水被害等について日野川河川事務所より説明。

3. 日野川水害タイムラインの運用について（同上）

- タイムラインの活用場面、立ち上げ・レベル移行基準の修正案等について日野川河川事務所より説明。

（鳥取地方気象台）

- ・ タイムラインレベル準備・注意は3～2日前の状況を想定しているが、前線によるタイムラインの立ち上げ基準を「早期注意情報【大雨】[高]かつ府県気象情報の発表」に絞った場合、立ち上げのタイミングが約1日前になると認識している。
- ・ タイムラインの立ち上げ基準は「早期注意情報【大雨】[中]かつ府県気象情報の発表」にしてはどうか。

（日野川河川事務所）

- ・ 鳥取地方気象台からのご意見の通り、「早期注意情報の【大雨】[中]かつ府県気

象情報の発表」に発動条件を修正する。

4. 日野川水害タイムラインの読み合せ（パシフィックコンサルタンツ㈱）

- 第7回検討会の意見を踏まえたタイムラインの改善方針、読み合せの進め方について事務局より説明。
- タイムラインのレベル毎に、イメージする状況と防災行動の全体像を事務局より説明。関係機関は自機関の行動項目や各機関から発信される情報を確認。
- 令和5年度出水期からの運用方法の変更箇所を事務局より説明。

5. 令和5年度出水期の運用に向けた留意事項（日野川河川事務所 赤松建設専門官）

- 出水対応時の防災行動の記録等について日野川河川事務所より説明。

6. 連絡事項（同上）

- 水害リスクラインとキキクルの統合表示、タイムラインに関するウェビナーの開催予定について日野川河川事務所より説明。

7. 質疑応答（同上）

- 鳥取大学 黒岩教授
 - ・ タイムライン発動条件の修正は、タイムラインの資料にも反映する予定か。
- 日野川河川事務所
 - ・ 日野川水害タイムライン一式（令和5年度）を修正し、関係機関の皆様へ後日送付させて頂く。
- 鳥取地方気象台
 - ・ タイムラインのレベル毎に想定する「主な発表情報」について、市町村が防災行動の目安としている警戒レベル相当情報との整合を図って修正してはどうか。
 - ・ 出水時のオンライン情報共有について、台風説明会の後に続けて開催し、タイムラインについて情報共有して頂くことは問題無い。
 - ・ レベル2以降で予定されている、気象台が開催する常時接続への参加について、想定されている実施内容を教えて頂きたい。
- 日野川河川事務所
 - ・ タイムラインの資料に記載している「主な発表情報」について、資料の修正箇所を事務局にて検討し、後日ご確認して頂きたい。
 - ・ 台風説明会では、タイムラインの発動予定等を発表させて頂く予定である。
 - ・ 常時接続については、今後ご相談させて頂きたい。

8. 講評

- 鳥取大学 黒岩教授
 - ・ 本日、鳥取地方気象台より挙げて頂いたご意見を踏まえて、タイムラインの資料を精査して頂きたい。
 - ・ 出水時に情報共有を的確に実施するためには、タイムラインについて平時より理解を深めて頂くことが重要である。特に新任の方は、タイムラインの引継ぎツールを活用して理解を深めて頂きたい。
 - ・ タイムラインに加えて各機関でマイ・タイムラインの作成を推進して頂くと、災害対応についてより具体的に検討を進めることができると思う。
 - ・ 検討会の場を通じて、今回のように関係機関よりご意見頂きながらPDCAサイクルを繰り返し、人命と財産を守るために取り組んで頂きたい。
 - ・ タイムライン検討会の発足から今まで座長を務めさせて頂いたが、今回を最後に交代させて頂くこととなった。5年間大変ありがとうございました。

● **日野川河川事務所 大塚事務所長**

- ・ 今年度は台風の影響によって例年より早い梅雨入りであり、来週にも台風が迫っている状況である。そのような危機感迫る状況で本日はタイムライン検討会を開催させて頂いた。
- ・ 黒岩教授にはタイムラインの検討開始当初から大変ご尽力頂き感謝申し上げます。
- ・ 本日頂いた意見を踏まえて、タイムラインのブラッシュアップを繰り返しながら先生のご尽力に応えていきたい。

● **鳥取大学 三輪教授**

- ・ 黒岩教授に代わり、次回の検討会より座長を務めさせて頂くこととなった。
- ・ タイムラインの重要なポイントは、多くの機関から出水時に発信される情報をいかに収集・活用するかである。
- ・ 本日実施したタイムラインの読み合せに加えて、タイムライン解説動画を活用して自機関の防災行動を再度確認して頂きたい。
- ・ 近頃は線状降水帯による大雨が多発している。線状降水帯による突発的な大雨の場合等には、タイムラインはレベル2・3から発動し、短時間での対応が必要となる状況もある。住民の避難への対応等には特に留意して頂きたい。
- ・ 千代川、天神川が運用している水害タイムラインと同様に、「逃げ遅れゼロ」を目標に各機関がご尽力いただきたい。

9. **閉会挨拶（日野川河川事務所 赤松建設専門官）**

- ・ 本日頂いた意見を踏まえて、今後のタイムラインの改善について検討する。